

第七十六回
帝國議會
貴族院

國民貯蓄組合法案特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

國民貯蓄組合法案(政)
國民更生金庫法案(政)
日本勸業銀行法中改正法律案(政)
北海道拓殖銀行法中改正法律案(政)
農工銀行法中改正法律案(政)

委員氏名

委員長 伯爵堀田 正恒君
副委員長 男爵松平外與麿君

侯爵前田 利爲君
侯爵筑波 藤麿君
侯爵久我 通顯君
子爵梅園 篤彦君
子爵三島 通陽君
子爵由利 正通君
宇佐美勝夫君
河原田稼吉君
男爵加藤 成之君
男爵西 西乙君
大塚 惟精君
光永 星郎君
磯貝 浩君
山隈 康君
吉村友之進君
岩元 達一君

昭和十六年二月二十二日(土曜日)午前十時十一分開會

○委員長(伯爵堀田正恒君) 是ヨリ委員會ヲ開會致シマス、政府當局カラ本會議デ御説明ガアリマシタケレドモ、尙一應御説明

ヲ願フカガ宜カラウト思ヒマス

○政府委員(廣瀬豐作君) 當委員會ニ付託ニ相成リマシタ國民貯蓄組合法案外四件ニ付キマシテ、其ノ理由ヲ御説明致シマス、先ヅ國民貯蓄組合法案ニ付テ申上ゲマス、政府ニ於キマシテハ、戰時ニ於ケル財政經濟ノ圓滑ナル運行ヲ圖リマスル爲、國民貯蓄ノ獎勵ニ力ヲ致シテ參ツタノデアリマスルガ、國民ノ貯蓄心ヲ涵養シ、貯蓄ノ一般的向上ヲ圖リマスル爲ニハ、貯蓄組合ノ發達ニ俟ツモノガ特ニ大ナルモノアリト認メマシテ、銳意之ガ普及ト充實トニ努メテ參ツタノデアリマス、其ノ結果昨年九月末現在ノ内地ニ於キマス組合ノ數ハ五十一萬五千、組合員ノ數ハ三千四百餘萬人、又貯蓄現在額ハ十五億二千七百餘萬圓ニ上ツテ居ルノデアリマス、併シナガラ現下時局ノ推移ニ伴ヒマシテ、貯蓄獎勵ヲ徹底致シマスル所ノ必要ハ、益々緊切ノ度ヲ加ヘツ、アル今日ニ於キマシテハ、國民貯蓄組合ラ一層整備充實セシメマシテ、之ヲシテ國民貯蓄獎勵運動ノ核心タラシメルコトヲ緊要ト存ジマシテ本法律案ヲ提出致シマシタ次第デアリマス、本法律案ノ骨子ニ付テ申シマスレバ、之ヲ大別シテ國民貯蓄組合ノ機構ニ關スル規定、指導監督ニ關スル規定及保護助長ニ關スル規定ノ三ツニ分ツコトガ出來ルノデアリマス、第一ニ國民貯蓄組合ノ機構ニ付キマシテハ、現在存シテ居リマスル所ノ貯蓄組合ノ實情ニ即シマシテ、其ノ形體ヲ整備スルコトヲ致シタノデアリマ

ス、第一ニハ指導監督ノ規定ト致シマシテ、先ヅ國民貯蓄組合ノ幹旋ヲ致シマスル所ノ貯蓄ノ方法ヲ定メマシテ、又組合規約其ノ他重要ナル事項ニ付テ届出ノ義務ヲ課シマス、又報告ノ徵取、實地検査、代表者ノ改任、其ノ他監督上必要ナル命令ヲ爲シ得ル旨ヲ定メタノデアリマス、第三ニハ保護助長ニ關シマシテ國民貯蓄組合ノ幹旋ニ依リマスル所ノ貯蓄ニ付テ甲種ノ配當利子所得ニ對スル分類所得稅ヲ免除スルコトヲ致シタノデアリマス、即チ元本三千圓ヲ超エザル銀行預金又ハ金錢信託ノ利子、又ハ利益並ニ付キマシテハ、一定ノ條件ノ下ニ於キマシテ免稅ノ途ヲ拓イタノデアリマス、銀行貯蓄預金、產業組合貯金等ノ利子所得ニ付キマシテハ、現行所得稅法ニ於キマシテモ元本三千圓以下ノモノハ非課稅トナツテ居ルノデアリマスルガ、此ノ外更ニ國民貯蓄組合ノ幹旋ニ依ル貯蓄デアリマシテ、元本五千圓ヲ超エザルモノニ付キマシテハ、一定ノ條件ノ下ニ分類所得稅ヲ免除スルコトニ致シタノデアリマス、次ニ貯蓄銀行以外ノ銀行ハ貯蓄銀行法ニ依リマシテ、複利ノ方法ニ依ル預金並ニ据置預金ノ受入ヲ禁止セラレテ居タノデアリマスルガ、國民貯蓄組合ノ幹旋ニ依ル場合ニ限リマシテ、是等ノ預金ヲモ取扱ヒ得ルヤウニ規定ヲ致シタノデアリマス、次ニ國民貯蓄組合ニ對シマシテハ補助金又ハ獎勵金ヲ交付シ得ルコトヲ規定致シマシテ、別途追加豫算ニ所要ノ

經費ヲ計上致シタ次第デアリマス、尙政府ト致シマシテハ、本法案ノ通過ノ曉ニ於テ其ノ適切ナル運用ニ依リマシテ、所期ノ目的達成ニ努メマスルト共ニ、之ヲ根幹ト致シマシテ、益々貯蓄獎勵運動ノ強化ニ萬全ヲ期セントスル次第デアリマス、次ニ國民更生金庫法案ニ付テ其ノ大略ヲ御説明申上ゲマス、國民更生金庫ノ目的ニ付キマシテハ、本會議ニ於キマシテ御説明申上ゲマシタ通り、時局ノ要請ニ應ジマシテ、轉業又ハ廢業ヲ爲サムトスル中小商工業者等ノ爲ニ其ノ資産ノ處分及負債ノ整理ヲ促進致シマシテ、是等ノ轉廢業者ノ轉業又ハ轉廢ヲ容易ナラシムトスルニ在ルノデアリマス、此ノ目的ヲ達成致シマスル爲ニ、本金庫ハ其ノ組織ヲ非營利ノ特種法人ト致シマシテ、其ノ資本金二千萬圓ノ中千九百萬圓ヲ政府出資ト致シタノデアリマス、本金庫ノ主ナル業務ハ轉廢業者ノ爲ニスル所ノ資産ノ管理、又ハ處分ノ引受並ニ處分ヲ委託セラレマシタ資産ヲ擔保又ハ見返リト致シマスル所ノ資金ノ融通デアリマスガ、資産ノ處分ヲ引受ケマスル場合ノ價額ハ一應營業ヲ繼續スルモノトシテ評價シタルモノニ依ラシメル方針デアリマシテ、斯クノ如キ轉廢業者ニ有利ナル資産ノ換價ハ既設機關ヲ以テシマシテハ爲シ得ナカッタ所デアリマシテ、此ノ點コソ本金庫ノ特色ヲ爲スモノデアリマス、尙本金庫ニ於キマシテハ其ノ他轉廢業者ノ爲ニスル債務ノ引受又ハ債務ノ保證ヲ爲スコトヲ得マスルシ、更ニ

必要ガアリマスレバ主務大臣ノ認可ヲ受ケマシテ右以外ノ業務ヲモ行ヒ得ルコトト致シタルデアリマス、又本金庫ノ事業資金ハ更生債券ノ發行ニ依リマシテ調達セシメルコトト致シマシテ、其ノ發行限度ハ拂込資本金ノ十倍迄ト致シタルデアリマス、次ニ本金庫ノ主たる事務所、即チ本所ハ之ヲ東京市ニ置キマシテ、支所ハ差當リ之ヲ大阪市ニ置キ、東京、大阪以外ノ全國各道府縣廳ノ所在地ニハ出張所ヲ設置スル豫定デアリマシテ、其ノ業務ヲ迅速ニ處理セシメマシテ、轉廢業者ノ便益ニ資セムトスルモノデアリマスルガ、更ニ銀行其ノ他ノ法人ニモ業務ノ一部ヲ代理セシムルコトニ致シマシテ、本金庫ノ機能ノ發揮ニ付テ遺憾ナキヲ期セシメムトスル次第デアリマス、斯クノ如ク本金庫ハ特殊ノ使命ヲ有スルモノデアリマスルニ顧ミマシテ、政府ハ之ニ對スル監督ニ付テ特ニ周到ヲ期シマスル共ニ、前ニ申述ベマシタ政府出資ノ外租稅ノ減免、損失ノ補償、補助金ノ交付等各種助成ノ方途ヲ講ジテ居ル次第デアリマス、以上ガ國民更生金庫法案ノ概略デアリマスガ、昨年十二月一應ノ暫定的措置ト致シマシテ、民法ニ基キ設立セラレタル財團法人國民更生金庫ハ、本法案ニ基ク所ノ特別法人デアリマス國民更生金庫設立ノ曉ニ於キマシテハ直チニ解散ヲ致シマシテ、新ナル國民更生金庫ニ對シマシテ其ノ業務ヲ引繼グ豫定デアリマス、次ニ日本勸業銀行法中改正法律案、北海道拓殖銀行法中改正法律案及農工銀行法中改正法律案ノ三件ヲ一括シテ御説明申上ゲマス、日本勸業銀行法及農工銀行法ハ明治二十九年、又北海道拓殖銀行法ハ明治三十二年ノ制定ニ係ルモノデア

リマスルガ、是等ノ法律ハ其ノ制定ノ當初、是等ノ銀行ノ業務ニ對シマシテ、相當嚴重ナル制限ヲ設ケマシテ、其ノ堅實ナル發達ヲ期スルコトト致シタルデアリマス、然ルニ創立後ニ於キマスル是等銀行ノ業況ハ極メテ順調デアリマシテ、其ノ信用モ加ハッテ參與マシタ爲、法律ニ依リ制限ハ漸次嚴ニ失スル嫌ガアルニ至ツタデアリマシテ、明治三十一年既ニ日本勸業銀行法ノ改正ヲ行ヒマシテカラ、今日迄屢、改正ヲ行ヒマシテ、之ニ依ッテ時勢ノ進運ニ即應セシメテ參ツタデアリマス、然ルニ今次事變ノ進展ニ伴ヒマシテ、是等ノ銀行ノ擔當スベキ任務ハ一層ノ重要性ヲ加フルニ至ツタデアリマス、斯カル情勢ニ對處シ、是等銀行ノ機能ヲ擴充スルガ爲ニハ、更ニ法律ノ改正ヲ行ヒマシテ、是等不動産銀行ノ業務ニ對スル法律上ノ制限ヲ緩和スルノ必要ヲ認ムルニ至ツタデアリマス、即チ今回改正ヲ行ハムトスル主要ナル點ハ、日本勸業銀行ノ場合ニ付テ御説明致シマスナラバ、第一ハ貸付ノ擔保ト爲シ得ルモノノ範圍ヲ擴張致シマシテ財團一般ニ及ボシ、又漁船等ヲ新シク加フルコトニ致シタルデアリマス、第二ニハ貸付ノ方法及期間ニ關スル制限ヲ緩和致シマシテ、山林抵當ノ貸付ノ定期償還ノ貸付期間ヲ二十箇年迄伸張シ得ルモノト致シマシタ、年賦金ニ付テハ元利均等ナルコトヲ要スル旨ノ規定ヲ削除致シマシテ、十人以上ノ連帶貸付ノ制度ヲ五人以上ヲ以テ足ルコトト致シマシテ、更ニ財團抵當貸付ニ付キマシテハ、財團設定前ノ資金ノ融通ヲ認メ、又農林又ハ水産ニ關スル事業ヲ營ム特殊法人ニ對スル手形ノ割引、又ハ當座貸越ヲ認ムルコトト致シタルデアリマス、第三ニハ市

街地貸付及預リ金ニ關スル制限ヲ緩和致シマシタ、又第四ニハ有價證券投資ノ範圍ヲ擴張致シタルデアリマス、第五ニハ賣出債券ニ關スル登記手續ノ簡易化ヲ圖ツタデアリマス、以上ハ日本勸業銀行法ニ付テ御説明致シタルデアリマスガ、農工銀行法及北海道拓殖銀行法ニ付キマシテモ之ニ準ジテ改正ヲナサムトスルモノデアリマス、以上申述ベマシタ各法律案ニ付キマシテハ何卒御審議ノ上御贊成アラムコトヲ希望致ス次第デゴザイマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) 是デ御説明ヲ終リマシテ、質疑ニ入ルデアリマスガ、資料ノ要求ガゴザイマスレバ……

○子爵梅園篤彦君 此ノ際參考資料ヲ要求致シタイト思ヒマス、衆議院ニ於キマシテハ種々參考資料ガ要求セラレタコトト存ジマス、而シテソレ等ノ參考資料ハ政府ニ於テ既ニ御蒐集済ミノコトト思ヒマスノデ、本院ニ於キマシテモソレ等ノ參考資料ヲバ御提出願ヒタイト思ヒマス、委員長カラ政府ニ對シテ御要求ヲ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) 承知シマシタル子爵梅園篤彦君 今伺ヒマスルト、大體衆議院ニ於テ要求セラレタ資料ハ參ッテ居ルサウデアリマスガ、其ノ中來テ居ナイモノモアルヤウデゴザイマスカラ、マダ御提出ニナツテ居ラナイモノヲソレデハ御提出ヲ願ヒマス

○子爵松平外與磨君 此ノ更生金庫法ノ第一條デアリマスガ、之ヲ見マス「轉廢業又ハ廢業ヲ爲ス商工業者等ノ資産及負債ノ整理」トアリマスガ、今ノ中小商工業者デゴザイマスガ、大凡更生金庫ノ對象トナル、御分リニクイコトカモ知レマセスガ、大凡

御分リニナリマシタ概數デスガドレ位ノ所迄ニ之ガ適用サレルノデアルカ、例ヘバ商工業者ニ若シ當嵌メレバ之ニ當嵌ル所ノ商業者ノ數、工業者ノ數ト云フモノガ若シカ御分リニナツタナラバ參考ニ戴キタイト思ヒマス

○政府委員(廣瀬豐作君) 只今御質問ノ點ニ關シマスル資料ハ確カ差上ゲテアル筈ダト思フデアリマス、商工省ノ方カラ差上ゲテ居ルト思ヒマス、只今御質問ニナリマシタ將來轉廢業ヲ豫想セラレマス商工業者ノ數デゴザイマスガ、或ハマダ御手許ヘ行ッテ居ナイカトモ思ヒマス、ソレカラ或數字ハ衆議院ニ於テ商工大臣ガ何カ御話シタヤウデアリマスガ、實ハ此ノ數字ハ御承知ノ物動計畫ニモ關聯致シテ居リマスノデ、表向ニハ申上ゲラレナイコトニナツテ居ル譯デアリマス、相當今後ニ於キマスル推移ニモ依リマスルケレドモ、相當ノ人數ニ上ルト云フコトヲ豫想致シテ居ルデアリマス、唯問題ハソレ等ノ豫想ヲサレテ居リマス轉廢業者ガ急激ニ一時ニ出ルカ否カト云フ問題デアルト思フデアリマスガ、本法律案竝ニ之ニ伴ヒマスル豫算外國庫ノ負擔ニ關スル契約ニ於キマシテ昭和十六年度ニ豫想致シテ居リマス政府ノ考ヘ方ハ、全體トシテ發生スルデアラウト考ヘラレテ居リマスル數字ニ對スル何分ノ一カト云フ程度デアリマシテ、即チ是等ノ轉廢業ト云フモノハ十六年度ノミニ於テ發生スルモノデナク、十七年以後ニ於キマシテモ引續キ數年ニ亘ッテ發生スルト云フ豫想ノ下ニ色々ノ計畫ヲ立テテ居ル次第デゴザイマス、御了承ヲ願ヒマス

○子爵梅園篤彦君 只今伺ヒマシタ國民貯

蓄組合ニ對シマシテハ、補助金又ハ獎勵金ヲ交付シ得ル規定ガアツテ、別途追加豫算ニ其ノ所要經費ヲ計上致シテアルトコトデゴザイマスガ、其ノ金額ノ内譯竝内容ニ付テ説明願ヒタイト存ジマス

○政府委員(栗原修君) 貯蓄組合ニ對シマスル補助金ハ別途豫算ニ要求シテ居ルノデアリマスガ、百八十萬圓バカリノ補助金ヲ出スト云フコトニ相成ツテ居リマス、其ノ大體ノ内譯ハ只今御説明申シマシタヤウニ、組合ノ數ガ五十一萬餘ニ上ツテ居ルノデゴザイマスガ、之ニ對シマシテ從來ノ増加率ヲ見マシテ、其ノ推定増加率ニ依リ一應組合數ヲ推定シマシテ、其ノ中カラ官廳デアルトカ、或ハ大會社、工場デアルトカ、サウ云フ經費ヲ補助スル必要ノナイト思ハレルモノヲ除外致シマシテ、約四十萬組合程度ノモノヲ目途ト致シマシテ、事務費ノ一部ヲ補助スルト斯ウ云フコトニ相成ツテ居ルノデゴザイマス

○子爵梅園篤彦君 昨年九月末現在ノ内地ニ於ケル貯蓄組合數五十一萬五千、組合員數三千四百餘萬人、貯蓄現在額十五億二千七百餘萬圓ニ上ツテ居ルト云フ只今ノ御説明ヲ伺ヒマシタガ、然ラバ此ノ百八十萬圓ノ補助金デ以テ、是ガ貯金貯蓄ノ普及發達ヲ補助メニナリマスル結果、ドノ位ノ程度ノ貯蓄ノ増額ヲ見ル御見込デアリマスルカ、其ノ豫想ニ付テ御説明ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(栗原修君) 貯蓄組合ヲ整備擴充致シマシテ、ドノ位ノ貯蓄ガ殖エルカト云フ御尋デゴザイマスルガ、現在ノ組合ノ貯蓄ノ狀況ヲ見マスルト、昨年度上半期ノ實績カラ推計致シマシテ大體七億圓位ノ貯

蓄ガ増加致シテ居ルノデゴザイマスガ、從來ニ致シマシテモ、此ノ貯蓄組合ノ貯蓄ノ増加促進ニ付キマシテハ、有ラユル手段ヲ用ヒマシテ努力致シテ居ルノデゴザイマスレドモ、併シナガラ從來ノ機構ニ於キマシテハ、ナカ／＼増加ヲ見ルコトガムヅカシイ事情ナドガアツタノデゴザイマス、併シ此ノ法律ニ依リマシテ、組合ノ整備ガ十分ニ出來マスト共ニ、組合員ニ於キマシテモ政府ノ十分ナル監督指導ニ信頼致シマシテ、安心ヲシテ貯蓄ガ出來ルト云フコトニナラウカト存ジマスノデ、少クトモ過去ノ貯蓄ノ實績ヨリハ遙ニ其ノ額ガ上ルコトヲ期待シテ居ル次第デゴザイマス、ソレデハドノ程度ニ増加スルカト云フコトヲ數字ヲ以テ豫想致シマスコトハ困難デアリマスルケレドモ、只今考ヘテ居リマスコトハ、少クトモ過去ノ實績ノ倍位ノ數字ハ蓄積致サセルヤウニ指導致シタイト存ジテ居リマス

○子爵梅園篤彦君 本法第四條「國民厚生金庫ノ資本金ハ二千萬圓トス」トアリ、又第十九條「拂込資本金額ノ十倍ヲ限リ厚生債券ヲ發行スルコトヲ得」トアリマスカラ、大體二億圓迄ノ資金ガ運用サルコトトナツテ居リマスルノデ、其ノ數字ノ上カラ見マスルト、相當ノ金額デアルト考ヘマス、併シナガラ昭和七年乃至八年ニ於テアリマシタ大不況時代ニ、中小商工業者ヲ救済スル爲ニ、府縣ノ保證ノ下ニ無擔保融資ガ行ハレマシタ、又保證協會ノ下ニ於ケル無擔保融資ガ付イテ實施セラレマシタ、更ニ商工中央金庫ニ於テ、又ハ庶民金庫ガ出來マシテ、何レモ中小商工業者ノ救済更生ニ當ツタノデアリマスガ、是等ノ資金ニ依ツテ產業人ガ眞ニ救済更生スルコトガ

出來タコトハ極メテ少イノデハナイカト左様ニ考ヘマス、故ニ二億圓ノ運用資金ガアリマシテモ、其ノ運用宜シキヲ得ザレバ同様ノ結果トナルハ火ヲ賭ルヨリモ燎カデアルト考ヘルノデアリマス、仍テ今回ノ國民更生金庫ノ資金ハ、其ノ貸出手續ヲバ敏活ニスルトカ、或ハ其ノ貸出金額モ、帶ニ短シ擲ニ長シデ中途半端ノモノニ致サズシテ、適當ノ金額ニスルトカ、從來ノ失敗ニ鑑ミテ其ノ運用ノ妙ヲ發揮致サレマシタナラバ、其ノ目的ヲ十分ニ達シ得ラレルデヤナイカト思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ特ニ御留意願ヒタイト思ヒマスルト共ニ、本案ニ於キマシテハ舊業務ニ供セラレマシタ所ノ資産ヲバ、一應營業ヲ繼續スル者トシテノ評價額ニ依ツテ其ノ處分ヲ引受ケ、之ヲ見返リトシテ資金ヲ貸付ケラレルコトニナツテ居リマスカラシテ、融資ヲ受ケマス所ノ中小商工業者側カラ申シマスルト、非常ニ有利デアルト思ヒマス、從ツテ所期ノ目的モ達シ易イト思フノデアリマスガ、是等ノ資金ノ運用ニ付キマシテ、我々素人ニ分リマシヤウニ詳細ニ説明ガ願ヒタイト思ヒマス、又國民更生金庫ト、從來ノ庶民金庫ナドノ金融機關トノ法的性質モ相違致シテ居リマスル點、ト云フヤウナ事ニ付キマシテモ、御説明ヲ煩ハシタイト思ヒマス

○政府委員(廣瀬豐作君) 御質問ノ點ハ多岐ニ互ツテ居リマスルノデ、私カラ大體ノ事ヲ申上ゲマシテ、尙足ラナイ所ハ他ノ政府委員カラ申上ゲタイト思ツテ居リマス、大體今回御指摘ノ通り國民更生金庫ハ資本金ガ二千萬圓デアリマシテ、其ノ十倍迄債券ヲ發行シ得ルノデアリマスカラシテ、詰リ本金庫ニ於キマシテ廻轉シ得ル資金ハ、二億

二千萬圓ヲ限度トスル勘定ニ相成ル譯デアリマス、併シナガラ實ハ此ノ二億數千萬圓ト云フ金、其ノ限度迄シカ此ノ金庫ハ資金ヲ出サナイト云フ考ヘ方デゴザイマセヌノデ、此ノ金庫ガ數年間轉廢業者ニ對シテ資金ヲ融通シテ居リマスル間ニ於キマシテハ、初メニ融通致シマシタモノカラ資金ノ回收ヲ受ケマス、其ノ回收ヲ受ケタ金ヲ更ニ第二、第三ノ年度ニ於テ發生シマシタ轉廢業者ニ貸付ケルト云フコトニナル譯デアリマシテ、資金ノ限度ハ二億數千萬圓デアリマスルケレドモ、實際貸付ガ行ハレマスル金額ト云フモノハ其ノ何倍カニナルト云フ豫想ヲ致シテ居ル次第デアリマス、ソレカラ貸付ノ方法ニ付キマシテハ、先程モ大體御説明申上ゲマシタヤウニ、從來ノ、先程御話ニナリマシタ商業組合、工業組合、或ハ普通銀行ヲ通ジテノ中小商工業者ニ對スル貸付ト云フモノノ方法ト致シマシテハ、物の擔保ガアレバ物的擔保ノ範圍内、又保證人ガアリマスレバ、保證人ノアリマスル限度ニ於テ貸付ヲ致ス、之ガ從來ノ普通ノ銀行トシテノ貸付ノ方法デアリマス、假令ソレガ商業組合デアラウト、工業組合デアリマセウト、大體融通ノ仕方ハ從來ノ銀行ノ融通ノ考ヘ方デアツタノデアリマスルガ、今回ノ更生金庫ハ大分其ノ點ガ違ツテ居リマシテ、詰リ轉廢業者ガ持ツテ居リマス所ノ商業道具ト云フモノガ、若シソレヲ市場デ處分スルト云フコトニナリマスレバ、謂ハバ拾値デ賣ラナケレバナラヌヤウナノモ、一應若シ本人ガ營業ヲ繼續シテ居ツタラバ、ドノ位ノ値打ガ出ラデアラウカ、誠ニ下世話ノ例デアリマスルケレドモ、例ヘバ魚屋ガ天秤棒一本シカ持ツテ居ラナイト云フ場

合デアリマシテモ、其ノ天秤棒一本ノ値段ヲ拾値デ見マセズ、其ノ天秤棒ニ依テ魚屋ガ經營ヲ營ンデ居タト致シマシタナラバ、其ノ天秤棒ガドノ位ノ値打ガシタデアラウカト云フヤウナ評價ヲスルノデアリマス、斯ウ云ツヤウナ評價ノ仕方ハ普通ノ銀行デハ到底爲シ得ナイコトデアリマス、從ヒマシテ政府ガ之ニ對シテ融通致シマス際ニハ、必シモ其ノ融通金額ガ當然回收サレルト云フコトヲ豫定シナイノデアリマシテ、或程度ヲ損失ヲ來スデアラウト云フコトヲ初メカラ承知ノ上デ資金ノ融通ヲシヨウ、此ノ點ガ此ノ金庫ノ非常ナ特色デアリマス、デアリマスカラシテ此ノ金庫ハ此ノ業務ヲ營ミマスルコトニ依ツテ、營業費ガ捻出出來ルトハ思ツテ居リマセヌ、從ヒマシテ本金庫ノ營業費ト云フモノハ殆ド全部政府ガ補給ヲスル、勿論資本金カラ生ジマス所ノ豫金利子、或ハ證券利子ト云フモノカラ生ジマスモノハ別デアリマスルガ、ソレ以外足リナイ營業費ト云フモノハ、殆ド政府ガ補給ヲ致シマス、其ノ外ニ更ニ融通シタ金額ガ回收出來スト云フコトモアルト云フコトヲ豫想致シマシテ、サウ云フ豫想……回收ガ出來スト云フコトヲ初メカラ承知ノ上デ融通スルト云フ建前デ此ノ第三章第十七條以下ノ規定ガ出來上ツテ居ル譯デアリマス、尙詳細ノ條文ニ付テ又御質問ガゴザイマスレバ、銀行局長カラ御説明申上ゲルコトニ致シマス、本金庫ノ法律上ノ性質ガ他ノ金融機關トドウ云フ風ニ違ツテ居ルカト云フ御尋ネデアルト思フノデアリマスガ、大體此ノ更生金庫ハ特殊ノ法人デアリマシテ、其ノ點ニ於テハ御承知ノヤウニ産業組合中央金庫デアリマス、或ハ恩給金庫、庶民

金庫ト云ツヤウナモノモ大體法律上カラ申シマス、似テ居ルノデアリマス、併シナガラ一番本金庫ノ法律上ノ性質ガ似テ居リマスノハ、御承知ノ庶民金庫ガ一番似テ居ルノデアリマス、庶民金庫ハ是モ大體全然營利ヲ目的ト致シテ居リマセヌノミナラズ、其ノ仕事ノ内容ニ於キマシテモ、極ク少額デハアリマスケレドモ、千圓乃至二千圓ヲ限度ト致シマシテ、庶民階級ノ人達ニ全然無擔保貸付スルコトヲ建前ニナツテ居ルノデアリマス、從ヒマシテ此ノ庶民金庫モ矢張り其ノ仕事ニ依ツテ利益ヲ得ル、營業費ヲ全部補フト云フコトハ豫想シテナイ法人デアリマス、譬ヘ方カラ申シマス、此ノ庶民金庫ガ先ヅ最近出來マシタモノデハ新シイ型變リノ法人デアリマスガ、國民更生金庫ハ大體ニ於テ、此ノ庶民金庫ニ一番似テ居リマシテ、庶民金庫ヨリモモツトハッキリ貸付ノ當時カラ損失ヲ豫想シテ居ルト云フ點ニ於テ違フト思フノデアリマス、庶民金庫ニ於キマシテハ營業費ハ持出シデハアリマスルケレドモ、貸付ケタ金ハ大體全體ヲ平均シマシテ、先ヅ戻ツテ來ルト云フ目論見デアノ庶民金庫ト云フモノハ出來テ居リマス、併シナガラ國民更生金庫ニ於テハ其ノ目論見スラ立テナイノデアリマシテ、或程度ノ損失ハ已ムヲ得スト云フコトデ、追ッテ御審議ヲ願フコトニナリマスガ、十六年度ノ追加豫算ニ於キマシテ取敢ズ十六年度ニ於テ國民更生金庫ガ損失ヲ受ケルデアラウト豫想セラレマス金額ガ六千五百萬圓ト云フコトニ致シマシテ、其ノ豫算外契約ヲ提出致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、此ノ六千五百萬圓ト云フ數字ハ單ニ十六年度ニ於テ發生スルデアラウト云フ豫想ノ金額ダ

ケデアリマシテ、十七年度以後ニ於テ更ニ引續イテ國家ニ於テ損失ヲ補償シナケレバナルマイト云フコトニ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、其ノ點ガ他ノ金融機關ト違ッタ主ナル點カト存ズル次第デアリマス

○子爵梅園篤彦君 只今ノ御懇切ナル御説明ニ依リマシテ大體了承スルコトヲ得マシタ、就キマシテハ此ノ貸付金額ハ大體一人當リニ對シテ其ノ限度ト云フモノハ決ッテ居ルノデアリマスルカ、或ハ決ッテナイノデアリマスルカ、決ッテ居ルト致シマシタラ、此ノ貸付金額ノ最高、最低ト云ツヤウナモノニ付テ承リタイト思ヒマス

○政府委員(廣瀬豐作君) 是ハ貸付ニ際シマシテノ限度ト云フモノハ決ッテ居リマセヌ、從ッテ最高、最低ト云フモノハゴザイマセヌ、大體此ノ更生金庫ガ引受ケマスルニ付キマシテハ、其ノ前ニ如何ナル方面ニ於テ轉廢業者ヲ出スベキカト云フコトニ付キマシテ、主トシテ政府部内ニ於キマシテモ、商工省方面デ方策ヲ決メル譯デアリマス、而シテ商工省ニ於キマシテハ轉廢業者ノ資産評價委員會ト云フモノガアリマシテ、ソコデ大體下ノ程度、或業種ニ付キマシテ、例ヘバ百人居リマスレバ、百人ノ中人ヲ轉廢業セシムベキカト云フコトヲ決メマシテ、其ノ轉廢業セシムベキモノノ持ッテ居リマスル所ノ資産ト云フモノヲ其ノ委員會デ評價スル譯デアリマス、其ノ評價シマシタ限度ニ於テ厚生金庫ハ資金ノ融通ヲシ、或ハ資産ノ管理ヲヤル、斯ウ云フ建前デヤツテ行カウト云フ考デ居ル次第デアリマス

○子爵梅園篤彦君 ソレデハ中小商工業者ト云フモノガ目的ニナツテ居リマスカラ、自ラ其ノ金額ハ極限ハ決マツテ居ル譯デアリ

マスルガ、併シ中小商工業者ト申シマシテモ、非常ニ微弱ナモノモアリ、相當資力ノアツタモノモアリマスルカラ、サウ云ツタ相當資力ヲ持ッテ居タモノニ對シテハ相當ナ貸付金額ヲバ見ルト云フコトニナル譯デアリマスルカラ、左様ニ承知シテ宜イデゴザイマセウカ

○政府委員(廣瀬豐作君) 大體ハ御考ヘ通りデゴザイマシテ、詰リ大規模ナ業者ト云フモノニ付テハ豫想ハ致シテ居ラナイノデアリマス

○子爵梅園篤彦君 次ニモウ一點伺ヒタイト思ヒマスルガ、既ニ轉廢業ノ已ムナキニ立至リマシタモノ、竝ニ轉廢業ノ狀態ニ進行シツ、アル者ニ對スル之ガ救済更生ノ對策トシテ現在御考ニナツテ居リマスル所ノ方法トシテ具體的ニ伺ヒタイト思フノデアリマス、尤モ此ノ救済更生策ハ或ハ商工省ト厚生省ト其ノ立場ノ關係カラ御達ヒニナル點ガアルカモ存ジマセヌガ、何レノ省ノ方デモ結構デゴザイマスガ、一通リ其ノ對策ニ付テ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(堀義臣君) 中小商工業者ノ問題ニ付キマシテハ豫々商工省ト致シマシテモ、出來ルダケノ方策ヲ執ツテ居ツタノデゴザイマス、特ニ工業者方面ニ付キマシテハ、大體申上ゲマスルト、物動計畫ノ設定ニ依リマシテ、事業ノ繼續ガ困難ナモノガ相當出デ参リマシタ爲ニ、ソレ等ヲ所謂時局産業ト云フヤウナ方面ニ振向ケマシテ、サウシテ仕事ガ出來ルヤウナ方策ヲ講ズルト云フ方針ヲ執ツテ参ッタノデアリマス、其ノ方法ト致シマシテハ、軍需産業デアリマスルカ、或ハ輸出品ノ産業デアリマスルカ、或ハ代用品ノ産業デアリマスルカ、斯様ニ今日ノヤウナ

情勢ニ於キマシテモ其ノ仕事ガ繼續出來ルデアラウカト云フ方面ニ仕事ヲ轉換サセルコトヲ考ヘマシテ、之ニ必要ナ措置ト致シマシテハ、例ヘバ技術上ノ指導ヲ致シマスルトカ、或ハ設備ヲ設ケマスル場合ニ其ノ補助ヲ致シマスルトカ、或ハ見本ヲ作リマス際、見本製作ニ付テノ補助ヲ致シマスルトカ、各般ノ方法ニ依リマシテ、ソレ等ノ産業ニ轉換スルコトヲ考ヘテ參ッテ譯デゴザイマス、此ノ方法ハ今後トモ之ヲ繼續致シマシテ、出來ルダケ斯様ナ方法ヲ執リタイト思ッテ居リマス、ソレカラモウ一ツハ中小工業者自體ガ何ト申シマシテモ資力其ノ他ノ點カラ申シテ甚ダ弱體ナモノガ多イノデゴザイマシテ、ソレヲ強化スル方針ヲ執ッテ參ッタノデアリマス、其ノ方法ト致シマシテハ企業ノ合同ヲ勸獎致シマシテ、經營單位ヲ引上ゲマスルトカ、中小工業者ノ技術上ノ指導ヲ致シマスルトカ、ト云フヤウナ方法ヲ執リマシテ、中小工業自體トシテモ強化サレルヤウニト云フヤウナコトデ考ヘテ參ッタノデゴザイマス、斯ウ云フ方法デ今後トモ之ヲ繼續シテ參ル考デゴザイマス、尙モウ一ツノ方法ト致シマシテハ從來中小工業者ト云フモノハ其ノ多クハ大工場カラ下請ノ注文ヲ受ケマシテ、ソレデ仕事ヲシテ居リマスルコト云フ者ガ多ク、デゴザイマススケレドモ、此ノ下請關係ト云フモノハ今日迄ハ亂雜ニナッテ居リマシタノデゴザイマス、ト申シマスノハ一ツノ中小工場ガ下請注文ヲ貰フ其ノ親工場ト云フモノハ一定シテ居ラナイ、或時ハ甲ト云フ工場カラ注文ヲ貰フ、或時ハ乙ト云フ工場カラ注文ヲ貰フト云フヤウニナッテ居リマス、又親工場ト致シマシテモ自分ノ都合ノ好イ時ニ、都

合ノ好イ中小工場ニ向ッテ下請注文ヲ發スルコト云フヤウナ傾向ガゴザイマシタ、斯様ナ有様デハ此ノ中小工業ノ維持ト云フ點カラ申シマシテモ、亦我ガ國ノ生産力維持ト云フコトカラ申シマシテモ遺憾ニ存ジマスルノデ、今後ハ此ノ下請關係ヲ整備致シマシテ、出來ルダケ此ノ經常的ナモノニ致シタイト考ヘテ居リマス、親工場ト中小工場トノ關係ヲ經常的ナモノニ致シマシテ、決メテシマフト云フコトヲ考ヘテ居リマス、サウ致シマシテ注文ガ既ニ決マッタ工場ニ向ッテ出サレルバカリデナク、親工場ト致シマシテハ謂ハバ子工場トモ申スベキ中小工業者ノ經營、技術ト云フコトニ付キマシテ常ニ指導ヲスル、親工場ト子工場トガ有機的ナ一體トナリマシテ、生産力ノ向上ヲ圖ラセルト云フヤウニ之ヲ仕向ケテ參ル、斯様ナコトモ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ商業者ニ付テハ物資ガ減ッテ參リマシタシ、相當利潤ガ限定サレテ居リマス、今日只今ノヤウナ狀態ノ儘商業者ガ居リマシタノデハ結局自滅ノ外ナイト存ジマス、出來ルダケ此ノ配給系統ヲ組織致シマシテ、一方カラ申セバ物資ガ圓滑適正ニ流通スルヤウニ、又業者トスレバ其ノ事業、仕事ガ出來ルダケ安定スルヤウニト云フヤウナ意味ニ於キマシテ、配給系統ノ整備ヲスルコトヲ考ヘテ居リマス、尙從來此ノ個々ノ業者ガソレノ仕事ヲシテ居リマシタヤウナモノヲ必要ニ應ジマシテ子組合ト云フヤウナモノニ致サセマシタリ、或ハ組合ヲ結成サセマシタリシテ、共同的ニ集團的ニ仕事ヲサセルト云フヤウナ方法ヲ執ッテ、工業者トシテ事業ガ確保サレル途ヲ講ジテ參ル、斯様ニ考ヘテ居リマス、大體中小ノ工業者

及商業者ニ付キマシテ從來カラ執ッテ參リマシタ方針ヲ今後モ極力之ヲ實行シテ參リタイト思ヒマス、大體御説明申上ゲマシタ次第デアリマス

○子爵梅園篤彦君 只今ノ御説明ニ依リマシテ其ノ救済更生對策ニ付テハ大體ノ内容ヲバ承知致シマシテ、安心致シマスルガ、併シ實際問題ト致シマシテハナカク、其ノ救済ガ徹底シテ居ラスノデアリマスカラ、特ニ此ノ救済對策ニ付テハ一層ノ御研究ヲ願ヒタイノデアリマス、兎ニ角是等多數ノ轉失業者ト云フモノハ、或ハ時局ノ波ニ攪ハレ、或ハ國策ノ犧牲トナッタ者ガ多イノデアリマスカラ、ソレヲ考ヘマスレバ一段ト御研究ノ上萬全ノ策ヲ御講ジ願ヒタイト云フコトヲバ、此ノ際希望致シテ置キマス

○河原田稼吉君 チョット伺ヒタイト思ヒマス、轉失業者ニ金ヲ融通ナサル時ニ、大體ハ物の擔保デ御決メナナルノデスカ、人間ノ環境デアリマスカ、是ハ何處ヘドウ持ッテ行カケレバナラヌカト云フ事情ニ依ッテモ之ヲ矢張り斟酌ナサルノデスカ

○政府委員(廣瀬豐作君) 先程モチョット申上ゲマシタヤウニ、大體サウ云ッテヤウナコトニ付キマシテハ、轉失業者ノ資産評價委員會ニ於キマシテ、只今御質問ニナリマシタヤウナ點ヲ、總テ考慮致シマシテ、具體的ニ誰ニハ幾ラ更生金庫カラ資金ヲ貸スト云フコトヲ決定スル豫定ニナッテ居リマス、此ノ委員會ハ商工省ニ設置サレル譯デアリマス、サウスルト、更生金庫ハ何ダカ委員會デ決メタモノヲ、ソックリ其ノ儘殆ド無批判ニ融通スルト云フコトニナルヤウデアリマシテ、其點少シワカシイコトニモ相成ルカト思フノデアリマスガ、併シ其ノ資

産評價委員會ニハ更生金庫ノ幹部ノ人間モ矢張り委員トシテ入リマスシ、又此ノ金庫ノ監督官廳デアリマス大藏省ノ人間モ入リマシテ、大體ノ資産評價委員會デ決マリマス時ニハ、金庫モ、大藏省モ、商工省モ、詰リ關係者ガ殆ド意見ガ一致スルヤウナ程度ニ於テ其ノ評價委員會ノ決定ヲ致シタイ、斯ウ云フ考ヘデアリマス、其ノ際ニ於テ有ユル事情ヲ考慮致シマシテ、轉失業者ヲシテ安ンジテ轉失業者出來ルヤウナ方法ヲ講ジタイト斯ウ云フ考ヘデゴザイマス

○河原田稼吉君 其ノ評價委員會ト云フノハ、矢張り中央以外ニ澤山オ作りニナルノデアリマスカ、ト云フノハ、若シ一ツダケデアルト、大分山積シテ處置ニ時日ガ掛ルヤウナコトニナルト思ヒマスガ、ドウ云フヤウニナッテ居リマスカ

○政府委員(堀義臣君) 評價委員會ハ中央ニ商工大臣ヲ會長ト致シマスモノヲ作りマス、ソレカラ各道府縣ニ地方長官ヲ會長ト致シマスモノヲ作りマス、中央ノ評價委員會ニ於キマシテハ、大體評價ノ基準ニナリマスヤウナコトヲ決メマシテ、ソレヲ各地方廳ニ通ジマシテ、ソレヲ根本トシテ今度ハ具體的ニ轉失業者出來マシタ際ニ、個々ノ評價ニ付キマシテ、地方ノ委員會ガ答申ヲスルト云フヤウナコトニナッテ居リマス

○河原田稼吉君 只今迄斯ウ云フ施設ニ付テハ、例ヘバ先程ノ御話ノヤウナ天枰一本デモ其ノ事情、或ハ從來ノソレノ生活ト言ヒマスカ、ソレヲ斟酌シテ御貸シナルト云フコトハ、大變御深切ナヤリ方デアリマスガ、從來ソレダケハ足りナクテ、ヤレ連帶者ヲ作レトカ、保證人ヲ作レト云フヤウナ、ヤカマシイコトガ多ク、從ッ

テナカ／＼連帶ニナル人モナシ、保證ニ立ツ人モナシト云フノデ、折角施設が出来テモ、其ノ便益ニ與ルコトガムヅカシカッタト云フ傾向ガ往々アッタノデ、ソレ等ノ點ハドウナリマスカ、モウ一ツハ、ナカ／＼願フ出シテモ、進行ガ早クナイ、出シテモ三箇月モ四箇月モ掛リ、其ノ中ニハ食ヘナクナッテシマフト云フヤウナコトガ、各方面ニ多カッタノデ、殊ニ斯ウ云フ側ニ多カッタヤウデ、ソレ等ニ付テハドウ云フヤウニ御取運ビニナリマスカ

○政府委員(廣瀬豐作君) 最初ニ御尋ノ點デゴザイマスガ、從來ノ銀行業務デアリマスレバ、擔保物、物的擔保デ足りナイモノト、人的擔保ト云ヒマスカ、保證人ヲ立テルト云フヤウナ手段ヲ執ルノデアリマスガ、今回ノ更生金庫ノ融通ニ當リマシテハ、其ノ轉廢業ヲ致シマスル者ガ、從來ノ業務ニ使ッテ居リマシタ物、ソレヲ擔保ニ取リマスルカ、或ハ管理ヲ致シマシテ、ソレヲ見返リニシテ金ヲ貸スコトニ致シマスガ、要スルニ舊業務ニ付テ本人ガ持ッテ居リマシタ資産ト云フモノヲ限度ニ致シマシテ、ソレ以外ニ別ニ添擔保ヲ取ルトカ、或ハ保證人ヲ取ルト云フコトハ致サナイ積リデアリマス、ソレカラ此ノ事務ヲ早クヤルト云フコトニ付テ何カ工夫ヲシテ居ルカト云フ御尋デゴザイマスガ、是ハ大體先程モ申シマシタヤウニ、個人々々ニ對シテ幾ラ貸スベキカト云フコトニ付キマシテハ、先程カラ申シマシタ資産評價委員會、是デモウビタツト決メテシマフ、ソレデモ一遍更生金庫ガ取上ゲマシテ各個人々々ニ付テ委員會デハ是ダケニ決メタケレドモ、金庫トシテハ是ダケシカ貸セナイト云フヤウナコトハヤ

ラセナイ積リデアリマスカラ評價委員會デ具體的ニ決リマスレバ、ソレカラ後ノ手續ハ比較的敏速ニ行ク譯デアリマス、デアリマスカラシテ成ルベク此ノ評價委員會ト云フモノガ時宜ニ適シタヤウニ、適當ニ且敏速ニ決定スルト云フコトヲ希望スル譯ナンデアリマス、尙取扱ノ店舖ト致シマシテハ、先程モ御説明致シマシタガ、本所、支所ト云フモノハ東京、大阪ニ置キマシテ、其ノ他ハ大體實際從來不動産其ノ他ノ擔保物ヲ取扱ッテ居リマス全國各地ノ日本勸業銀行ノ支店、其ノ日本勸業銀行ニ主トシテ働イテ貰フ積リデアリマスガ、其ノ外ニ於キマシテモ、全國金融協議會、是ハ御承知ノヤウニ銀行、ソレカラ信託會社、總テノ金融機關ガ結成シテ居ルモノデゴザイマスルガ、之ニ大體話ヲ致シマシテ、其ノ土地其ノ土地ニ必要ナ所ノ銀行デモ、信託會社デモ、或ハ場合ニ依ッテハ貯蓄銀行、無盡會社ヲ使ッテモ宜シウゴザイマスガ、其ノ土地々々ニ必要ナ處ニハ代理店ヲ置キ、其ノ代理店ヲシテ簡易ニ迅速ニヤラセルト云フ考デ居ル次第デゴザイマス、從ヒマシテ更生金庫ガ出來マシテ其ノ更生金庫ガ新シク人ヲ採用ヲ致シマシテ、其ノ人間ガ其ノ土地ヘ出張ッテ行ッテ仕事ヲ始めルト云フノデナク、本當ニ新シイ人ガ出來ルノハ本所、支所位ノモノデアリマシテ、後ハ全部從來カラ其ノ土地ニヤッテ仕事ヲヤッテ居リマシタ銀行トカ、代理店トカニ仕事ヲ扱ハセルト云フコトニサセタイト思ヒマスカラ、相當敏速ニ事ガ運ブコトニナルト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○河原田稼吉君 今ノ評價委員會ハ中央ハ矢張り大藏省ヘオ置キニナル譯デアリマスガ、ソレカラ地方ハ矢張り地方廳ヘデモオ置キニナリマスカ、ソレカラ地方ノ評價委員會ノ額觸ハドウ云フ一體範圍ノ人ヲ御採リニナル御考デセウカ

○政府委員(堀義臣君) 中央評價委員會ハ商工省ニ之ヲ置キ商工大臣ガ會長ニナルノデアリマス、委員ト致シマシテハ先程大藏次官カラ御説明申上ゲマシタヤウニ關係各廳ノ官吏、ソレカラ各主ナル事業ノ代表者ト云フヤウナ人ニ矢張り委員ヲ御願ヒシテ居リマス、ソレカラ又商業會議所デアリマストカ、經濟聯盟デアリマストカ云フヤウナ方面ノ代表者ノ方及工業組合中央會、商業組合中央會、貿易組合中央會ト云フヤウナ團體ノ代表者ノ方々ニ委員ヲ御願ヒ致シマシテ、委員ト致シマシテハ、地方廳ノ關係ノ官吏、ソレカラ稅務關係ノ官吏、ソレカラ地方ニ於キマスル商工會會議所ノ代表者、ソレカラ工業組合、商業組合等ノ代表者、又更生金庫ノ關係者ト云フヤウナ人ヲ大體委員ニ任命シテ貰フ考ヘデ居リマス

○河原田稼吉君 地方ノ今ノ評價委員會ハ地方ソレ／＼一ツデアリマスカ、例ヘバ一縣一ツト云フカ、ソレ／＼必要ナ所ヘオ置キニナル積リデアリマスカ

○政府委員(堀義臣君) 各府縣ニ一ツ置キマス、地方ノ縣廳内ニ置ク譯デアリマス

○河原田稼吉君 一ツダト茲ニ方々ノ地方カラ郵便デ言ッテ來テ、ソコデ矢張り人ヲ集メテ相談スルトカ、或ハ更ニソコカラ町役場ヘ照會スルトカ、一ツダケデヤナカ／＼事ガ敏速ニ運バスト云フヤウナ虞ハアリマセスカドウデスカ

○政府委員(堀義臣君) 其ノ爲ニハ地方廳

ニ囑託員ト致シマシテ、評價ノ調査員ト申スヤウナ者ヲ、大體三十名位ツツ各地方廳ニ置キマシテ、之ガ矢張り此ノ事業ノ資産ノ評價ト云フコトノ出來ルヤウナ人ヲ頼ミマシテ、調査員ト致シマシテ、之ガ具體的ニ轉廢業者ガ出來マシタ時ニ其ノ現地ニ參リマシテ、調査ヲ致シマシテ、サウシテ一應ノ資料ヲ調べマシテ、地方長官ニ報告スル、ソレニ依ッテ地方長官ガ地方委員會ニ諮問スルト云フヤウナ手續ヲ採ッテ參リタイト思ッテ居リマス

○河原田稼吉君 大變結構デアリマスガ、ソレモ自然ト係リニナレバ、出來ルダケ過チノナイヤウニシタイト云フノハ人情デ、又サウデナケレバナリナイト思ヒマス、ナカナカ手數ニ非常ニ日ニチガ掛ッテ、折角ノ更生資金ヲ早く貰ヒタイト云フノガ遅レチャッタリ、ソレガ爲ニ時期ヲ失スルト云フコトモ往々アリハセスカト思フ、特ニ今回ハ皆樣方ガオ役所ニ於テサウ云フコトノナイヤウニ御努メノヤウニ思ヒマスガ、中央デ御考ニナルト、地方ハ必ズシモ思フ通りニ行カナイコトモアリマスノデ、何ンダカ手續ガ少シ煩雜デナイカ、モウ少シ簡單ニ、即チ一箇所デナク方々ヘオ置キニナッテ敏速ニ行ク、例ヘバ、或銀行ノ信用ノアル支店ノ方ニハ、ソコニ設置スルトカ、決シテ一箇所デナク、モット澤山置イテ事ヲ運ブト云フ譯ニハイカヌノデセウカ

○政府委員(堀義臣君) 誠ニ御尤モナ御指摘デゴザイマスガ、實ハ大體ニ於キマシテ轉廢業ヲスル者ハ工業組合ナリ、商業組合ニ所屬シテ居ル者ガ數デ申セバ多イト思ヒマス、ソレノ關係モゴザイマスノデ、組合ノ方デ先ツ組合トシテノ整理計畫ヲ建テマ

スモノデスカラ、其ノ際一應組合トシテ評價ニ付キマシテモ、相當程度迄ノ意見ハ決メルト考ヘマス、ソシテ關係モゴザイマス、差シ當リ先程申シマシヤウナ調査員ヲ使ヒマシテ調査ヲ致シマスレバ、ソレ程時間ヲ掛ケズニ調査ガ出來ルノデヤナカラウカト考ヘテ居リマス、是ハ具體的ニ實施致シマシテ、手が足りマセヌヤウナ場合ニハ、無論適當ノ處置ヲ講ジナケレバナラナイト考ヘテ居リマス

○委員長(伯爵堀田正恒君) 皆サンニ御諮リ致シマスガ、參考書類ガ御手許ニ廻ッテ居リマスガ、マダ御覽ニナッテ居ル方モ少イト思ヒマス、又參考書類ヲ先程モ要求ニナッテ居リマスカラ、本日ハ此ノ程度デ質疑ヲ止メテ置イテ如何デセウカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵堀田正恒君) ソレデヤ本日は是デ散會致シマス、月曜日ハ午前十時カラ開會致シマス

午前十一時十五分散會
出席者左ノ如シ

委員長 伯爵堀田 正恒君
副委員長 男爵松平外與麿君
委員

侯爵前田 利爲君
侯爵筑波 藤麿君
侯爵久我 通顯君
子爵梅園 篤彦君
子爵三島 通陽君
子爵由利 正通君
宇佐美勝夫君
河原田稼吉君
男爵西 西乙君
大塚 惟精君

政府委員

大藏次官	廣瀨 豐作君	磯貝 浩君
大藏省銀行局長	相田 岩夫君	山隈 康君
大藏書記官	坂口 芳久君	岩元 達一君
同	山際 正道君	
國民貯蓄獎勵局次長	栗原 修君	
商工省振興部長	堀 義臣君	

昭和十六年二月二十五日印刷

昭和十六年二月二十六日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局